

各 位

上場会社名	サムコ 株式会社
代表者	代表取締役社長 辻 理
(コード番号)	6387)
問合せ先責任者	執行役員 管理部門統括部長 田井 彰
(TEL)	075-621-7841)

業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

平成24年6月7日付当社「平成24年7月期 第3四半期決算短信[日本基準](非連結)」にて発表いたしました平成24年7月期(平成23年8月1日～平成24年7月31日)の業績予想及び配当予想を下記のとおり修正いたします。

記

● 業績予想の修正について

平成24年7月期通期個別業績予想数値の修正(平成23年8月1日～平成24年7月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	4,550	560	550	320	45.48
今回修正予想(B)	3,829	295	300	177	25.15
増減額(B-A)	△721	△265	△250	△143	
増減率(%)	△15.8	△47.3	△45.5	△44.7	
(ご参考)前期実績 (平成23年7月期)	5,253	810	742	430	61.13

(注)平成23年8月1日付で普通株式1株につき1.2株の割合で株式分割を行っておりますが、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、通期の期中平均株式数を算定しております。

修正の理由

当期はギリシャ問題に端を発した欧州信用不安の波が各国に広がり、世界的な景気減速、先行き不透明感が経済に深刻な影響を及ぼしました。各分野での生産調整、設備投資の抑制、延期等が一段と進行し、厳しい市場環境が続きました。当社の主力事業であるLED製造用途を中心とするオプトエレクトロニクス分野においても、将来的には拡大が見込まれるものの、液晶テレビのバックライト向け販売等の減少に伴い、特にアジア市場での生産機の需要が落ち込みました。台湾から中国へLED製造設備の投資が移る中、中国での金融引き締め策の導入により設備投資が抑制され、台湾での落ち込みを中国向けの輸出で補えませんでした。期末に向けて短納期出荷体制を整えていたところ中国での金融緩和の動きと共に受注環境に改善の兆しが現れ大口の引合いが増加いたしました。しかし、販売先の都合により期中の出荷はその一部に留まりました。また、国内向けの大口案件の出荷も次期にずれ込んだことから、上記の通り修正いたしました。

(注)上記の業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

● 配当予想の修正について

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想 (平成24年6月7日発表)	—	—	—	15.00	15.00
今回修正予想	—	0.00	—	12.50	12.50
当期実績	—	—	—		
前期実績 (平成23年7月期)	—	—	—	15.00	15.00

修正の理由

株主に対する利益還元は企業の基本的責務であり、配当額の決定は経営の重要施策のひとつと認識しており、安定的な配当継続を重視して株主への利益還元に努めておりますが、同時に、経済環境の変化に備えた財務体質の強化、ならびに将来の事業展開のための内部留保の充実にも十分留意する必要があると考えております。上記業績予想の修正に伴い、誠に遺憾ではございますが、期末配当の予想を1株当たり15円00銭と発表しておりましたが、2円50銭減配の12円50銭に修正させていただきます。

(注)上記の配当予想に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。